

# 「『住み続けたい!』を実感できるまち松浦」に向けた 「ともだビジョン 2022」

令和2年3月に市民の皆様と策定した「第二次松浦市総合計画」に掲げる6つの将来像の実現を目指し、これまでの「ともだビジョン」の継続と必要な見直しを行い、「『住み続けたい!』を実感できるまち松浦」に向けたまちづくりを進めます。

## 1. 学び育てるまち

### 1) 安心して産み育てるための子育て支援策を進めます。

乳幼児期における発達段階に応じた教育・保育環境の整備、保護者の就労状況や生活環境に応じた支援、育児不安の軽減や子どもの疾病予防などの母子保健対策、特に支援が必要な家庭への適切な支援など、結婚・妊娠・出産及び子育てを包括的に支援します。

### 2) 学校教育の充実を図り、教育のまち松浦を実現します。

児童生徒の確かな学力の育成、ICTを活用した効果的な授業の実践、外国語教育の推進、学校・保護者・地域が協働して子どもの成長を支えるコミュニティスクールの導入拡大、ふるさと教育の充実、松浦高校と連携した課題解決能力の育成を進めます。

### 3) 全ての世代が自ら学びあう生涯学習の充実を図ります。

「まつうら出前講座」や公民館活動の充実、図書館資料の充実と図書館システムの更新、移動図書館車（きらきら号）の更新、スポーツ・レクリエーション活動の充実、文化財の保存活用と情報発信、国史跡鷹島神崎遺跡保存管理計画の具現化を進めます。

### 4) 木や森林とふれ合うことで子どもの豊かな成長を促す「木育」を推進します。

本市の特徴ある子育て施策として周知を図り、企業版ふるさと納税等による財源を確保しつつ、ウッドスタート事業や木育キャラバンの実施、保育所やこども園などでの木育を進めます。

## 2. 誇れるまち

### 1) 明確なコンセプト（構想）に基づく総合的な観光戦略を構築します。

大手旅行関係企業をはじめとする多様な関係者と協働し、観光資源の掘り起こしと磨き上げ、それらを有機的に結び付けた松浦ならではの観光戦略を構築し、全国に向けて発信し、交流人口の拡大を図ります。

### 2) アジフライの聖地松浦の全国展開と世界進出に取り組みます。

有名料理雑誌 dancyu で特集が組まれるなど、本市のキラークンテンツ（集客力のある取組み）に成長した「アジフライの聖地 松浦」の知名度を更に向上させ、本市経済への波及効果を高めるため、国内主要都市でのイベント出店やアジフライの聖地 松浦認証店を全国に拡大します。また、海外の見本市等へ積極的な出品を促し、世界に松浦アジフライの美味しさを広めます。

### 3) 国による鷹島神崎遺跡の保存活用を実現するため、世論喚起を推進します。

遺跡の価値を高めるため、引き続き専門家と共に遺跡の調査研究、遺物の保存処理を進めます。また、国による専門機関の設置と元軍船の引き揚げ、展示公開を実現するため、元寇と闘った松浦党や鎌倉武士の活躍など、多くの人々の共感を呼ぶストーリー(物語)づくり、旅行ツアーの誘致などに取り組み、遺跡の保存活用に対する世論を喚起します。

### 4) 松浦戦略産品「松浦の極み」の知名度向上に取り組みます。

本市産品戦略の核として選定した「松浦の極み」の知名度を向上させ、販路拡大による生産者の所得向上、後継者育成、本市の PR を進めるとともに、その他の産品へも相乗効果が現れるよう取組みを進めます。

## 3. 仕事をつくるまち

### 1) 松浦魚市場を核とした食料供給基地としての機能を高めます。

高度衛生管理型施設としての機能を活かし、EU 向け HACCP の認証を取得するとともに、加工による付加価値向上や輸出促進を図ります。また、関係者の理解を得ながら水産物食糧供給基地としての機能を高め、本市の「稼ぐ力」を向上させます。

## **2) 長崎 IR の実現を見据え、IR 対応経済戦略を策定します。**

長崎県が誘致を進めている IR（統合型リゾート）は周辺地域に大きな経済効果をもたらすとされており、本市にとっても様々なビジネスチャンスが生まれる可能性があります。機を逃すことが無いよう積極的に情報を収集し、関係者と共有しながら、官民共同で IR に対応するための経済戦略を策定します。

## **3) 農水産物の振興と所得向上に向け、儲かる仕組みづくりを支援します。**

「ともだビジョン」に掲げ、これまで取り組んできた農林水産業振興策を継続するとともに、優良農地の維持・活用、高収益作物への転換、親元就農・就漁にかかる省力化支援、担い手育成を進め、「攻める・儲かる・続けられる農林水産業」づくりを進めます。

## **4) 商工業の振興と規模拡大を支援します。**

「松浦」の知名度を向上させる取組みを通じて交流人口の拡大を図り、市外需要の獲得と地域内での消費拡大を進めます。地場企業の規模拡大や新たなチャレンジへの支援などを通じて元気な企業を増やし、地域経済の活性化と雇用者増を進めます。

# **4. 未来へ続くまち**

## **1) 地場企業に対する理解促進を図り、若者の地元定着を進めます。**

市内中学生や高校生が地場企業を正しく理解できるよう、引き続き企業説明会や見学バスツアーを実施します。また、若者がより多くの職業を選択できるよう、西九州させば広域都市圏全体を地元と位置づけた企業説明会や見学会の開催を働きかけます。

## **2) 定住につながる支援制度を充実します。**

新規学卒者やUターン者へのふるさと就職奨励金、市内事業者による新築又は中古住宅の取得に対する定住奨励金、市外から定住促進住宅へ転入する際の家賃減額など、定住に繋がる支援制度を充実します。

## **3) 松浦の魅力を発信し、移住者に選ばれるまちをつくりまします。**

本市の魅力を SNS 等で随時発信するとともに、首都圏等での移住相談会の開催、移住コーディネーターによる移住希望者へのきめ細かな対応、お試し住宅の運用などを通じて、移住希望者が気軽に訪れることが出来る環境を整え、松浦の暮らしを実感してもらうことで、移住者に選ばれるまちをつくりまします。

#### **4) 脱炭素社会に対応した松浦火力発電所づくりを進めます。**

松浦火力発電所に CCS（二酸化炭素回収・貯留）やアンモニア燃焼などの脱炭素設備が導入され、国のカーボンニュートラルに適応した施設として存続されるよう、長崎県、九州電力(株)、電源開発(株)と連携して取り組みます。

## **5. 安心・幸せのまち**

#### **1) 西九州自動車道の早期全線開通を促進します。**

本県選出国會議員、沿線自治体及び関係諸団体と連携して、一日も早い全線開通を促進します。また、数年後に見込まれる平戸 IC までの延伸を見据え、本市に人を呼び込むための魅力向上に取り組みます。

#### **2) 地域医療体制を確保します。**

市内各医療機関が引き続き地域医療体制を確保できるよう、市と医療機関との連携・協働を図るとともに、必要な支援を行います。

#### **3) 高齢者福祉の充実と社会参加を促進します。**

住み慣れた地域で自分らしく暮らせるよう、住民主体による集いの場の拡大、外出支援、医療や介護・看護・生活支援などの連携による地域包括ケアシステムの構築、消費者被害の防止、ACP（人生会議）の普及啓発を進めます。

#### **4) 障がいのある人の社会参加と福祉の充実を進めます。**

障がいのある人が住み慣れた地域で自立して暮らせるよう、訪問系サービスの充実、地域生活への移行の推進、相談支援体制の充実、就労支援、通学支援、成年後見人制度の利用支援など、各種福祉サービスを通じて障がいのある人の社会参加と福祉の充実を図ります。

#### **5) 健康づくりのための環境整備と検診の充実を進めます。**

誰もが楽しめる健康イベントの開催やウォーキングコースの設定、健康ポイントの周知と活用、受診しやすい各種検診と動機付けなど、市民の健康づくりを進めます。

#### **6) スポーツ・文化の充実と振興を進めます。**

各種団体の取組みを支援するとともに、プロ選手やチームとの連携による魅力向上、指定管理者による質の高い文化公演の実施を進めます。

## **7) 公共交通ネットワークの再構築を進めます。**

公共交通のあり方を抜本的に見直し、路線バスから予約制タクシーへの転換による交通空白地の解消、NPO 法人等による運営の検討、松浦鉄道や航路との連携強化などを進めます。

## **8) 防災体制の充実強化を進めます。**

「松浦防災アプリ」の導入を図り、各種防災情報や道路の通行止め・解除情報など、必要な情報を容易に入手できる環境整備を進めます。自主防災組織率の向上とその避難所となる自治公民館の機能強化を支援します。

## **9) 安全安心な通学路の確保と計画的な道路の維持管理を進めます。**

学校・保護者・警察・道路管理者等による通学路安全点検を実施し、危険個所の解消を図ります。また、計画的な市道の維持管理と事業実施中路線の整備を促進します。

# **6. 皆でチャレンジするまち**

## **1) 小学校区毎に協働によるまちづくり運営組織の設立を進めます。**

地域住民の知恵やアイデアにより、地域の様々な課題を地域の実情に応じて、住民主体で解決できるよう、小学校区毎に協働によるまちづくり運営組織を設立します。そのための設立支援、運営費の助成など、行政と住民の協働を促進します。

## **2) 対話によるまちづくりを進めます。**

小学校区毎の地域版未来会議を継続します。その上で、市民と行政が課題を共有し、多様な意見を出し合いながら、新しいアイデアを生み出し、それを市民と行政が協働で実現する「対話によるまちづくり」を進めます。

## **3) まちづくりに必要な人材を育成します。**

松浦高校や県内の大学等と連携し、地域の課題を解決するための知識や能力を身に着けた人材の育成を進めます。また、対話によるまちづくりに必要な「ファシリテーター（話し合いの促進役）」を市民の中から育成します。